

[Hondaの交通安全情報紙]

SJ

Since1971

SJ ホームページは

●編集室：本田技研工業株式会社 安全運転普及本部内
〒107-8556 東京都港区南青山2-1-1
TEL 03 (5412) 1736 <http://www.honda.co.jp/safetyinfo/>
●編集人：原田洋一

※ご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。
株式会社アストクリエティブ
安全運転普及本部係
TEL 03 (5439) 1191
E-mail: sj-mail@spirit.honda.co.jp



Safety for Everyone

Honda はすべての人の交通安全を願い活動しています。

この度の平成28年(2016年)熊本地震におきまして、被災された皆様には心よりお見舞い申し上げます。一日も早い復旧をお祈りいたします。

2016

6・7

June・July

NO.478

CONTENTS

- P1 特集：交通安全普及活動の輪
交通安全活動を通して、お客様、さらに地域社会との絆を深める
- P4 教育最前線 / Honda の新高齢歩行者プログラム
- P5 TOPICS ① / 第16回全国自動車教習所教習指導員安全運転競技大会
TOPICS ② / ナイスミドルのためのスマートライディングスクール
- P6 FRONT LINE / 安全教育研究所 所長・星忠通さん
- P7 危険予測トレーニング (KYT) / 雨天時の走行 (四輪車編)
SJ クイズ
指導者ファイル / 愛知県・豊橋市安全生活課 交通安全教育指導担当者の皆さん
- P8 SAFETY FOCUS / 香川県高松市

特集
交通安全普及活動の輪



Honda Cars 埼玉県央による「あやとりい ひよこ編」を活用した交通安全教室

交通安全活動を通して、お客様、さらに地域社会との絆を深める

また現在、四輪販売会社での人材育成とともに力を入れている取組みの1つが、来店した子どもや近隣にある幼稚園・保育園の園児に対するHondaの交通安全教育プログラム「あやとりいひよこ編(以下、あやとりい)」を活用した交通安全教室の展開である。実際にあったのは、四輪販売会社のスタッフが交通安全教室の指導者となれるように、安全運転普及本部が研修な

ることを実現するため、Hondaの四輪販売会社では、1994年にセーフティコーディネーター(以下、SC)という社内資格を導入。このSCが店頭での安全アドバイスの実施、安全ミニ講習会の開催など、お客様の安全を守る活動に取り組んでいる。SC資格を取得するための四輪販売会社のスタッフに対する安全研修がSC研修であり、Hondaはこれを各販売会社が必要に応じて自主開催できるように今年度から改定した。内容も、お客様と地域を守る活動を推進するために必要な安全意識を醸成できるものに見直されている。

これを強化している背景には、交通安全の普及拡大に向けた場と機会を創出し、手渡して安全を伝える活動をさらに充実させることで、より多くのお客様と地域の方々を守りたいという想いがある。

全国各地のHonda Cars(四輪販売会社)では店頭での安全アドバイスをはじめ、お客様との触れ合いを大切にされた手渡しの安全活動を実践している。さらに、販売拠点のある地域社会にも活動の輪を拡げるため、四輪販売会社を通じた活動の進化を図っている。今回は、四輪販売会社の交通安全活動とそこに込められた想いを伝え、お客様と地域のために安全を手渡して届ける四輪販売会社の活動を紹介します。



Honda自動車販売店協会 総務委員会委員長の田口忍さん (Honda Cars 埼玉県央・代表取締役社長)

「四輪販売会社のスタッフは、お客様にとって一番身近な『交通安全のプロ』でなくてはなりません。そうした意識を醸成することが、新しいSC研修によってやりやすくなったといえます。研修を通じて、ノウハウだけでなく、Hondaの安全思想や、どのような取組みを行ってきたかという根源的なことを理解しておくことは安全活動を進めるにあたって大切です。そのため、営業スタッフだけでなく、サービスやCA(カーライフアドバイザー)のスタッフにもSC研修を受けてもらう必要があると考えています。また、交通安全を地域に発信していくという取組みを活性化させるために、『あやとりい』による活動もさらに拡げていく予定です。お子さんへの教育内容

どを通じてサポートしている。こうした四輪販売会社によるお客様と地域の安全を守る活動の意義について、Honda自動車販売店協会総務委員会委員長の田口忍さん(Honda Cars 埼玉県央・代表取締役社長)は次のように話す。

※あやとりい=Hondaが三重県鈴鹿市と協力して開発した交通安全教育プログラム。幼児~小学校低学年対象の「あやとりい ひよこ編」、小学3~4年生対象の「あやとりい」、幼児~小学校高学年対象の「あやとりい自転車教室」、高齢の歩行者・自転車利用者対象の「あやとりい長寿編」がある。あやとりいは「あんぜんを やさしくときあかしりかいていただく」の略。詳細は以下ホームページを参照。
<http://www.honda.co.jp/safetyinfo/kyt/ayatorii/>

特集
交通安全普及
活動の輪

交通安全活動を通して、お客様、さらに地域社会との絆を深める



写真上／交通安全教室の導入として使われる「あやとりい ひよこ編」の音当てクイズは子どもたちに好評

写真左下／道路を横断する前にまず止まることを子どもたちに身につけてもらう

写真右下／「県央レンジャーショー」は、悪者の不安全行動を正すという交通安全に関連した寸劇



ホンダカーズ埼玉県央(本社・埼玉県日高市)は、大型連休初日の4月29日に全5拠点で開催した「こどもの日フェア」の中で「あやとりい」による交通安全教室を実施した。同社専務取締役の長谷川夕子さんは「あやとりい」を通じて、小さいお子さんに安全を伝えていくことは、たいへん重要だと考えました。まず、各拠点

Honda Cars
埼玉県央
の
取組み

や伝え方を考えることも、スタッフ一人ひとりの意識を高めることに有効で、各社での継続的な取組みにつながるはずで、四輪販売会社もホンダの一員として、交通事故ゼロの実現に貢献していきたいと思っています。

にあるCA8名を集めて「あやとりい」の研修を受講してもらったところ、自分たちで1回やってみたいという声が上がってきました。そこで、CA2名が1組となり3月に3つの拠点で「あやとりい」を実施し、CA1名でもできるという手ごたえをつかんだので、「こどもの日フェア」として全拠点で実施することにしました」と振り返る。

販売拠点の1つ、高麗川店では、同店CAの樋口葉子さんが「あやとりい」交通安全教室を担当。はじめに音当てク



「キッズエンジニア体験」では子どもたちが展示車のタイヤを交換

「県央レンジャー」は埼玉の平和と交通安全を守るホンダカーズ埼玉県央のオリジナルキャラクターで、各拠点の代表者が演じている。シートベルトを着用しないで運転する、一時停止場所で止まらないといった悪者の不安全行動を正すという寸劇を披露した。

「キッズエンジニア体験」は、子どもたちがクルマの整備を担当するサービススタッフの仕事を経験するというもの。クルマに興味を持ってもらうと同時に、日常点検も安全運転に欠かせないことを

イズからスタート。街で耳にする音を再生し、それが何かを子どもたちに答えてもらう。その後、樋口さんは信号機のある交差点が描かれたワークシートを見せ、「横断歩道を渡る前は必ず止まりましょう」と強調する。続いて、歩行者用信号機の色の意味を説明。「青信号でも、すぐに渡らず、止まって、左右、そして後ろからクルマが来ていないか確かめてください」とアドバイスを加える。

交通安全教室を終えたCAの樋口さんは「止まる」「まわりをよく観る」ということを印象に残すことを心がけました。「あやとりい」は音やイラストを使って説明でき、お子さんに関心を持ってもらいやすいので、一人でも多くのお子さんに交通安全を伝えられるように、活動を継続していきたい」と話す。



子どもたちが交通安全教室で身につける名札。各拠点のCAの手づくりで名札の下には守ってほしい「おやくそく」が書いてある



高麗川店ではHonda自転車シミュレーターの体験コーナーを設け、スタッフが交通安全指導を行った

「あやとりい」をきっかけに
安全活動への理解が深まる

ホンダカーズ埼玉県央では各拠点の入社2〜3年目のスタッフが「お客様と一緒に楽しむ」をコンセプトに、「あやとりい」を取り入れたことがきっかけとなり、今回の「こどもの日フェア」も開催

理解してもらおうねらいがある。高麗川店では空気が抜けているタイヤを見つけて出して、タイヤ交換作業に取り組んだ。子どもたちをサポートした同店サービスの藤井大樹さんと本田裕一さんは「お子さんが自分の手で工具や部品などを触る機会を多くつくることを意識しました。少しでもクルマや整備の仕事に興味を持ってもらえると思います」と話す。

今回の「あやとりい」交通安全教室は全拠点で子ども64名にご参加いただき、保護者からは次のような声が聞かれた。「こうした機会をお店がつくってくれ

ると、家族で気軽に参加できます。外を歩く時はまわりをよく観るなど、私たちも子どもに教えてはいますが、なぜそうする必要があるのでかというところまでは説明できていませんでした。だから、こうした場で、子どもにわかりやすく説明してもらえて、ありがたいと感じています」(4歳、2歳の子とも参加した父親)。

「幼稚園でも交通安全教室があります。小さい子どもは一度では覚えきれません。交通安全について学べる機会があれば参加したいと思いました。指導を担当したスタッフの方も親しみやすく、幼稚園と同じ内容でも新鮮に感じました。信号が青になってから横断歩道を渡る前に、左右だけでなく、後ろも確認することがより安全であるということが、大人の私にも印象に残りました」(5歳、



左からHonda Cars 埼玉県央 専務取締役の長谷川夕子さん、CAの樋口葉子さん、サービスの藤井大樹さん、本田裕一さん

特集
交通安全普及
活動の輪

交通安全活動を通して、お客様、さらに地域社会との絆を深める



Honda Cars 市川では船橋市や市川市の保育園にCAが出向いて「あやとりい」交通安全教室を実施

受講した保育園児への手づくりのプレゼント。「とまれ!みぎとひだりよくみてね」というメッセージが書かれている



他のCAと話し合

市)も「あやとりい」を活用して、地域

Honda Cars
市川
の
取組み

指導者役であるCAの古山友美さん

「将来的には、保護者の方が商談をして...」

3歳の子どもと参加した母親... 「交通事故をなくすためには、クルマを運転するドライバーだけでなく、歩行者や自転車利用者も注意することが必要です。」



Honda Cars 市川 CAの古山友美さん(左)と高橋美奈さん(右)

の交通安全活動に取り組んでいる。同社では昨年11月に3名のCAを「あやとりい」の指導者として養成。そのCAが同社の販売拠点がある船橋市や市川市の保育園で交通安全教室を実施している。

「あやとりい」による交通安全活動の推進について、同社常務取締役の小暮振一さんは「あやとりい」は当社の企業理念である「交通安全の啓発を通じて地域社会に貢献する」という部分に合致するものです。

スタッフの安全意識を醸成するための研修を実施



Honda Cars 市川 常務取締役の小暮振一さん

「あやとりい」と、今後を見据える。活動を当社のスタンダードとして継続していきたい」と、今後を見据える。

Honda Cars 市川は新しくなったSC研修も取り入れ、5月19日に実施した。受講者の一人、八千代南店営業の山根成太郎さんは「ホンダの一員として、あらためて事故や違反を絶対にしないように気を引き締めます。また、安全アドバースとともにホンダの安全に対する理念や取組みもお客様にお伝えしていきたい

いました。また、「あやとりい」は私たちが一方的に話すのではなく、お子さんも参加できることが特長です。質問を投げかけた時に積極的に手を上げられないお子さんもいるので、答えてもらうお子さんが偏らないように気をつけています」という。CAの高橋美奈さんは「教材として使うイラストのクルマはいろいろなホンダ車なので、「それ、うちのクルマ!」とお子さんが興味を示してくれたいことがうれしく思いました。そして、思っていた以上に真剣で意欲的な表情を見せていたので、お子さんが楽しんでくれていることが実感できました。最初は「CAはこういうこともするのか」と驚きましたが、今はクルマの販売にかかわる一員として、交通安全への取組みは大切なことだと感じています」と語る。

全スタッフによる「手渡しの安全」の実践をめざす

四輪販売会社を通じた交通安全活動の進化について、本田技研工業(株)日本本部販売部四輪業務室室長の中蘭憲一は次のように話す。



Honda Cars 市川でのSC研修

「これまでのSC研修は、体験を通じて安全運転技術やクルマに搭載されている安全デバイスについて理解を深めることを中心とした内容でした。長年、これを継続してきたことによって、お客様への店頭アドバースも定着してきました。この基盤をもとに、「お客様とともに地域を守る活動」へと進化させていこうと考えたわけです。そのために、「Safety for Everyone (すべての人のための安全をめざして)」という考えをもとに活動を進められる人材を育てることを念頭に置き見直しを図りました。単に活動のノウハウを伝えるのではなく、ホンダの創業当時から現在まで受け継がれている交通安全に対する理念を正しく理解していただける内容になったと思います。



本田技研工業(株)日本本部販売部四輪業務室室長の中蘭憲一

Hondaは今後、こうした活動をさらに進化させ、交通安全を通して地域に信頼される四輪販売会社をめざしている。